

「ロボットフレンドリーな環境構築に係る実証事業」とは??

市役所各部署から依頼を受けた書類や物品について、本庁舎6階から1階～5階の各フロアへロボットによる配送を行います。ロボットとエレベーターの連携によるフロア間移動、自律走行によるフロア内のヒト・モノを避けての移動、配送物のセキュリティ確保、そしてそれらを職員や来庁者に周知し、物理的・心理的な障壁を取り除いていくことでロボットフレンドリーな環境を構築してまいります。

実証ポイントその①

不特定多数の市民や職員が行き交う庁舎内で共存するためのロボットフレンドリー環境の構築

取り組み例)

- * ロボットフレンドリーサイン(標識)の作成、標示
- * ロボット待機空間の確保
- * 運用マニュアル・緊急時対応マニュアルの作成
- * 来庁者の安全面への配慮
- * ロボフレリテラシーの向上に向けた取組
- * 職員や来庁者からのフィードバック収集

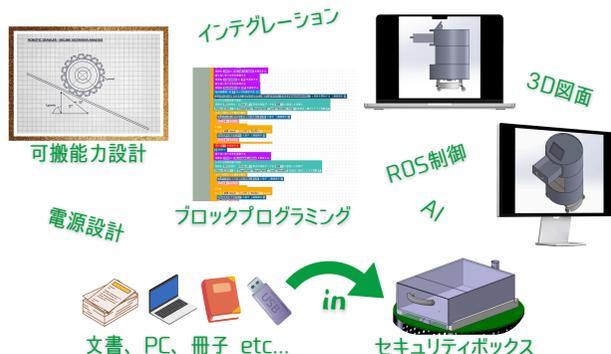


市役所ロビーの様子

多くの人々が行き交う、自律走行ロボットにとって過酷な環境において、全ての人々がロボットの存在を認識し譲り合える環境とリテラシーの構築、ひいては地域全体として「ロボットのまちさがみはら」の実現に向けた環境整備を推進します。

実証ポイントその②

市庁舎内特有の環境と物流業務に即し、セキュリティや信頼性・柔軟性・拡張性をカスタマイズした市庁舎特化のロボット仕様

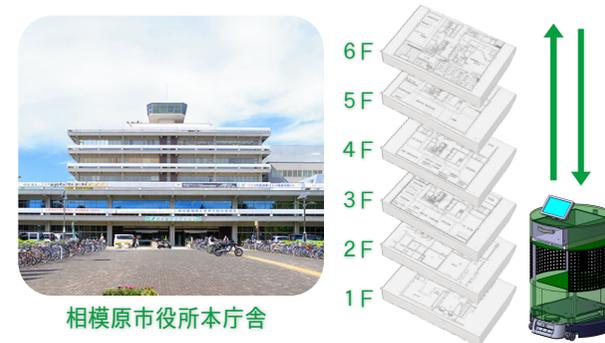


市庁舎に特化した独自仕様のロボットとして、Wi-Fiの電波環境に依存しないローカル制御・完全AI自動制御、セキュリティボックス機能、電気配線の最適化、市庁舎内環境※に応じた柔軟な運行システムの開発検討を行います。

※タイル・絨毯・カーペットなどの様々な路面環境、狭い事務エリア通路、床上げによる勾配箇所、防火シャッターの時間帯による開閉状況 等々

実証ポイントその③

市役所本庁舎のエレベーターとロボットをシステム連携させ、フロア間を移動させる通信機能



相模原市役所本庁舎

エレベーター会社の「ロボットとエレベーターの連携システム」を活用し、ロボットのエレベーターでの自立的なフロア間移動を実現します。エレベーター昇降路内に新たに通信設備を設置してエレベーター筐体を制御することで、ロボット側の通信機能と連携し、物理ボタンを押すことなくエレベーターの開閉と行先フロアの指定が可能となります。

実証事業協定を結んだ三者

戸田建設株式会社

さがみはらロボットビジネス協議会

相模原市

さがみはらロボットビジネス協議会 (プロジェクト参画企業6社)

コミュナルテクノロジーサービス株式会社

株式会社F-Design

アクセスエンジニアリング株式会社

株式会社クワシヤ

株式会社グリーンノート

株式会社MEMOTECHNOS

